

就業体験を通して

地域社会とつながる荒高生

9月15日から17日にかけて行われた、荒砥高校2年生による就業体験。役場企画政策課で仕事を体験した大嶋恵利歌さんと鈴木里奈さんの二人が、その様子を取材しました。
※取材した事業所は一部です。

体験後記



鈴木里奈さん(広野) 大嶋恵利歌さん(山口)



さくらの保育園

【体験者】

紺野朋香さん・菅原瑠美さん

園児とのふれあいや運動会に向けての準備を行いました。保育士という職業は、子どもが怪我をしないよう、特に安全面に気をつけて保護者の方が安心して子どもを預けられる場所にすることが大切だと感じました。今回の体験で人と接することへの考えが変わりました。(紺野朋香)

【体験先から一言】運動会に向けての準備を手伝っていただき、とても助かりました。就業体験やボランティア活動をたくさん経験して将来に活かしてほしいです。



財団法人アルカディア 財団パレス松風

【体験者】

梅津優希さん・佐藤美月さん

お風呂の掃除やベッドメイキング、フロントの手伝いを行いました。体験している仕事をする上で大切だと思うことは「次の人が施設を気持ちよく使えるようにすること」です。体験先ではお世話になっている側なので、自分の仕事に責任を持って行動するように心がけました。(梅津優希)

【体験先から一言】体験中に教えたことをメモする姿勢がとても素晴らしいと思いました。就業体験を担当するようになり、たくさんの生徒を見ってきましたが、メモをとったのは二人が初めてです。



(株)JAサービス おきたま白鷹給油所

【体験者】

大滝和季さん・高橋樹さん

主に車のそうじ、窓ふき、接客を体験しました。この仕事では、声の大きさやお客様に満足していただけるようなサービス提供が大切だと思いました。また、この仕事はとても体力を使いますが、お客様に「ありがとう」と喜んでいただけたときはとても嬉しく、やりがいを感じました。(高橋樹)

【体験先から一言】声が大きく、とてもまじめに働いてくれました。また、仕事を自分から探してやってくれて、とても感心しました。この仕事で大切なことは、思いやりや気づかい、あいさつがしっかりできることですが、二人はその点がしっかりできていました。

今回の就業体験では普段なかなか足を運ぶ機会がないような場所へ行き、新しい発見や学んだことがたくさんありました。また、他の事業所へ訪問してのインタビュー能力は、コミュニケーション能力の大切さを感じました。

(すずきりな)

広報編集の中で各地に取材に行き、地域の方とお話して楽しかったです。また、白鷹町には私が知らない良いところがたくさんあるなど感じました。この体験で将来について考えることもできました。ありがとうございました。(おおしま えりか)